



光風緑 Hannan

2019年 第1号

〒599-8263 大阪府堺市中区八田南之町277番地 ☎(072)278-0381 FAX(072)277-2261 URL http://www.hannan.or.jp

理念 愛のこころで医療に奉仕を 和のこころで総力一致を 励むこころで創意工夫を

新年互礼会開催

明けましておめでとうございます。今年も平成最後の年、また新しい元号最初の年です。当院といたしましても新たなプロジェクト始動の年であり、更なる進化が求められる年だと考えております。「精神科医療をもつて地域に貢献する」という思いを大切に、今年もしっかりと医療医実践してまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

また、皆様にとりまして素晴らしい一年になりますように祈念いたしております。さて、当院では診療開始日の1月4日(金)、新年を寿ぎ、新しい年に気持ち新たなスタートとするための病院行事、新年互礼会を行いました。職員約80名が集い、新しい年をお祝いたしました。

互例会は事務長の開会宣言の後、院歌斉唱、そして理事長、院長より挨拶、そして最後は乾杯と、短い時間ではありますが、節目で職員が顔をあわせる機会を大切にしています。



基本方針

- 人権を重んじ、患者さんやご家族の「こころ」に寄り添ったやさしい医療を提供します。
- 質の高い医療を提供するため、すぐれた医療人を育てます。
- 「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。
- 地域の拠点病院として、保健・医療・福祉に貢献します。
- 信頼される医療サービスを提供するため、経営の健全化につとめます。

2016.4.1 改定



院内
花
だ
よ
り

うめ
梅
薔薇(ばら)科、サクラ属。
寒いころから咲き出す梅を見ると、春の息吹を感じます。

- 開花時期は、1/20 ~ 4/5頃。
- 種類によって1月中旬頃から、また3月中旬頃から咲き出すものなど様々。
- 桜と違って咲くのも散るのもゆっくりなので、楽しみが続きます。
- 奈良時代、中国から使節が持ち帰った。平安時代には、春の訪れとして寒い頃から咲く梅は、香りの良さからも人気がありてはやされた。
- ちなみに「梅雨」の由来は梅に実がなる頃に雨が多いことから名づけられたという説がある。

3月1日より

クレジット
カードの支払が
可能となります



当院も患者様やご家族からクレジットカードでの支払を希望されるケースが増えております。2019年3月1日よりクレジットカード支払導入に向けての準備が整い、クレジットカード支払がご利用頂けるようになりました。支払方法を多様化し顧客満足の向上に努めてまいります。

ご利用に関してのお問合せは、医療法人杏和会 阪南病院 医事課 ☎072-278-0381までご連絡ください。

■外来診察表

外来診察時間 / 9:00~12:00(受付は11:30まで)
平成31年2月1日から各医師の診察を各曜日・各診察室で行います。

	月	火	水	木	金	土
1 診	黒田	土井	濱田	横田	黒田	横田
2 診	花房	横井	松島	戎	横井	
3 診	松島	亀田	植田	白銀		植田
4 診	田中		岩井	京田	萩野	
5 診	佐野	山田	川村	加納	広田	松村
6 診	柴田	長谷川		吉川	小林	
7 診	山本	川村	小深田	久保		小深田
8 診	熊取谷	橋本	西村	大村		熊取谷
9 診	上坂	柏木			土井	安藤
診(心1)			中井			

*医師の急な都合により変更・休診となることがございますので、予めご了承ください。
(ご紹介いただく際は予めのご連絡をお願いいたします)



専門外来
(睡眠・児童・往診・女性・口腔)は予約制です。
医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。受診の前にお電話ください。
TEL.072-278-0381
FAX.072-281-6615

診療科目

精神科 / 心療内科 / 児童精神科 / 内科 / 歯科 / 小児科 / 放射線科 / 神経内科

病床数

- EPU(精神科救急)病棟 212床(C1,E1,H2,H3病棟)
 - 児童精神科病棟 30床(D1病棟)
 - 垂急性期病棟 120床(B2,C2病棟)
 - 精神科急性期治療病棟 60床(D2病棟)
 - メンタルケア(精神科急性期治療)病棟 35床(E3病棟)
 - 老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)
 - MPU(精神科合併症治療)病棟 53床(H1病棟)
 - 精神療養病棟 60床(F3病棟)
 - 認知症治療病棟 60床(F2病棟)
- 計690床

関連施設ご紹介

- 認知症疾患医療センター ☎072-278-0233
- 訪問看護ステーションふれあいサテライト「浜寺石津」 ☎072-279-1631
- グループホームあんずの郷
堺市中区八田北町309 ☎072-278-2233
- 地域生活支援センターゆい
堺市中区深井沢町3324 FUKAIビル1F ☎072-277-9555
- 堺市発達障害者支援センター アプリコット堺
堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号
堺市立健康福祉プラザ内3F ☎072-275-8506
- 医療福祉相談室(直通) ☎072-278-3768
- 就労移行支援事業所 エンワーク
堺市中区深井清水町3544-3
アンシャンテ深井1F ☎072-270-3318
- 居宅介護支援事業所 ☎072-278-0488

編集・発行 医療法人杏和会 阪南病院 地域医療連携室&総務課広報「光・風・緑」チーム

最近の災害からの知見

～災害拠点病院として～
大阪医療センター救命救急センター 医長 若井 聡智 先生



1月22日(火)院内での災害対応訓練を前にして、厚労省DMAT事務局でご活躍される、若井聡智先生の講演会を開催いたしました。当院では4回目のご登壇ですが、いつもわかりやすく端的な言葉で説明されます。今回は当院が指定された災害拠点精神科病院の役割と、昨年の北海道地震での支援を切り口に、当院からの多くの質問にもお応えいただく内容でした。「災害拠点精神科病院に求められる事項」として、E-MIS発信が可能であること、災害時の精神科患者の受入ができること、平時から備えていること(耐震化構造、電気水ガス・食料医薬品・機器・通信)、BCPが作成されていること、DPATを結成、訓練を実施していること、あげられ、迅速に動ける体制と、ダメージコントロールの重要性についてお話しになりました。広域災害時、病院への物資補給が滞る場合、活動レベルの見直しや変更が必要になること、状況を見極めた対応が重要であることなどお話しになりました。またDMATによる患者の搬送及び、支援が入る際は、院内にいるDPATが状況を説明、スムーズに災害対策本部とDMATなど応援部隊との調整役になることが重要であることも説明されました。

中でも興味深かったのが、病院などの建物倒壊の危険性を測ることはプロの判定士でも難しく、対策として、建築業者さんと密に連絡をとりおくこと、設計図など必要時にすぐに出せるようにしておくことなども含め、かなり細かく説明になりました。支援する側として多くの現場で、備えの不備を感じられることもあるのでしよう。また、非常時は頑張りすぎるスタッフがいるので、管理監督者はその点に配慮して、労務管理、事故防止に努めることの重要性といったところまでお話しになりました。先生のお話を活かして今年の災害対応訓練を実施したいと考えます。

災害対策会議事務局

堺市発達障害者支援センターアプリコット堺

11/23 (金)

「教えて!働き続けるコツ」



とを自己紹介シートにまとめ、それを本人と一緒に企業へ伝え、職場理解とサポートが得られるように支援を行っており、不安の解消はもちろん、理解が得られているという安心感が働き続けることにつながっている、と事例を交えてお話し頂きました。

第2部では、当事者2名をお招きし、座談会を行いました。「私はこうして働いています」をテーマにアプリコット堺の相談から始まり、支援機関の利用、就職、働き続けるためには何が大切なのかをうかがいました。最後のメッセージでは「このような場で話が出来たことが良かった」と力強く話されていた姿は非常に印象的で、相談者の理解者になれているか、支援者として、日々の実践を振り返る機会となりました。

今後も継続して発達障害理解の促進のため、当事者やそのご家族の声を届けていくための啓発活動を行ってまいります。機会があれば、ぜひ皆様もご参加ください。

11月23日(金)、堺市立健康福祉プラザ大研修室にて、公開講座「教えて!働き続けるコツ」を開催しました。当日は晴天にも恵まれ、当事者、ご家族、支援者、般市民の方々など、89名のご参加がありました。

第1部では、アプリコット堺から発達障害の方が働くために大切なこと、働く中で生じる課題、働き続けることを支援する機関について説明を行いました。続けて就労移行支援事業所クロスジョブ堺から、毎日の訓練で行う連絡、報告、相談する機会が相談する力を養い、自己理解を深めていく実践をご紹介頂きました。また得意なこと、苦手なこと

アプリコット堺事務局

「障害者週間」フェスティバル

12/8 (土)

12月8日 (土)、堺市立健康福祉プラザ

(以下、プラザ)において、「障害者週間」フェスティバルが開催されました。「障害者週間」とは障害のある方の福祉について関心を深めることをねらいとして毎年12月3日～9日と定められているものです。アプリコット堺(堺市発達障害者支援センター)は今年度で5度目の参加となりました。今年度もプラザ内の相談機関や地域の支援機関より、旬の野菜や焼き菓子、手作りの雑貨などの販売、点字や手話の体験、映画の上映など様々な企画が催されました。



アプリコット堺は今年も、ペンダーのポプリを入れたサシエ(香り袋)づくりやいろいろな色や形のシールやマスキングテープを貼って完成させるオリジナルのクリアファイルづくり、クリスマスをテーマにした簡単にできる紙皿や紙コップのデコレーション体験ができるブースを出店しました。「いい匂いがする」と手作りのサシエに笑顔になる参加者や、熱心にシールやデコレーション素材を選ぶ参加者の姿が印象的でした。ブースには小さなお子様からお年寄りまでたくさんの方々にご参加いただき、大盛況でした。また、参加者にはローズマリー水もプレゼントし、喜んでいただきました。

アプリコット堺

2019年は己亥 (つちのとい)

2019年の干支、己亥(つちのとい)は、草木の次のような状態を意味しています。

- 「己」…●草木が十分に生い茂って整然としている状態。
- 完成した自己や成熟した組織が、足元を固めて、次の段階を目指す準備をする年と言われます。
- 「亥」…●草木が枯れ落ちて、植物の生命が引き継がれ種の内部に草木の生命力がこもっている状態。

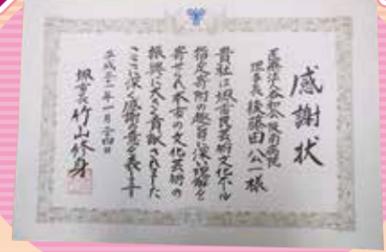
このように外に向けての活動ではなく、内部の充実を心がけると良い年だということです。

新しい年が、皆様にとって幸せで実りある1年でありますように。



当院は敷地内完全禁煙です

堺市から理事長に感謝状を頂戴いたしました



フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール)への寄付への感謝状

堺市民会館が閉鎖され、長らく工事が続いていましたがこの度、フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール)が、今秋にグランドオープンが予定されています。フェニーチェ堺は府内の公共ホールでは最大規模となる2,000席の大ホールを有し、優れた舞台芸術や公演の発信地として整備が進められてきました。堺市では、建設、整備に際し個人、団体、企業からの寄付を募っていましたが、当院も少しですが寄付させていただいたことで、堺市より感謝状をいただくこととなりました。

1月24日(水)堺市長の代理として堺市健康福祉局健康部長が来院され、感謝状を頂戴いたしました。企業として、文化に貢献することは大切です。堺市発展の基点として発信するフェニーチェ堺が、堺が最も栄えた安土桃山時代のような芸術、文化の拠点となることが期待されています。